



通学路で事故や犯罪の起きやすい場所を探す「地域安全MAP教室」(「だいじょうぶ」キャンペーン実行委員会、エフエム大阪主催、東京海上日動火災保険協賛)が3日、枚方市枚方上之町の市立枚方小学校で開かれた。155年生と保護者ら約40人が危険な場所を確

認し合った。児童に危険察知力を身につけてもらおうと始まり、2007年度から全国で開催している。犯罪学が専門の小宮信夫・立正大教授が「入りやすくて見えにくい場所が危険」と解説した。東京海上日動火災保険と代理店の社員を先生に、学校周辺を歩き、危険な場所を地図に書き込んだ。写真。高橋篤人さん(3年)は「思ったよりの危険な場所が多かった」と話した。【山本夏美代】

だいじょうぶ

身近な危険 チェック

枚方小 児童ら安全MAP作成

2018年2月4日(日)付 毎日新聞 大阪府内版
 「地域安全MAP教室」 枚方市立枚方小学校実施分 報告記事